

### 経営者への活きた言葉

人は自分以外の誰かを幸せにするために生まれてきた 瀬戸内寂聴(作家)

1. 一寸先に何が待ち受けているのか、まったくわからないのが人間です。  
人は死を逃れて生きるということとはできない。たえず死と隣り合わせに生きている。  
人は自分の意志で生まれてきたのではなく、命を授かってこの世に生まれてきたのです。何のために。  
自分以外の誰かを幸せにするためです。
2. 日本人とは何か、改めて考えます。何よりも勤勉なこと。その原動力によって日本は世界屈指の経済大国になったのです。辛抱強く、質素である。どんな運命にも耐え忍ぶ力がある。  
仏教には「忍辱にんにく」という言葉があります。  
まず如何なる困難をも耐え忍ぶ。常に平穏な心を保ち、他に対して寛容であることを言います。
3. 生かされている私たちは何をすべきか。「切に生きる」。私は道元のこの言葉が好きです。金銀財宝はいくらあってもあの世には持っていけない。空しいものです。  
どうせ生きるなら一瞬一瞬を切実に生きていく。一生懸命に生きる。どういう時もどんな環境でも「切に生きる」。後悔をしないように生きていくことを言うのです。

(参考:「文藝春秋」2011年5月特別号)

### ワンポイント経営アドバイス

出社が早い部門ほど業績は高い 岡藤正広(伊藤忠商事社長)

1. 社員の出社時間を調べると、2つの顕著な傾向 が出てきました。  
1つは、管理部門がものすごく遅かった。管理部門だけでやっていると、緊張感を持って仕事をしていないから朝遅くても構わないとなっていた。出社が遅い組織の中には、その言い訳が、「夜遅いから」と言う。夜10時までやっていると。なら、朝早く来るべきでしょう。
2. もう一つは、儲かっていない営業部門ほど遅かった。逆に、早く出社している上司が多い営業部門は、儲かっているという傾向が出てきた。

(参考:「日経ビジネス」:2011年4月11日号)